

令和4年度早池峰地域保全対策事業推進協議会 議事録

1 開催日時

令和5年3月22日（水） 10時00分～11時45分

2 開催場所

盛岡地区合同庁舎8階大会議室（盛岡市内丸11-1）

3 出席者

【協議会構成員（敬称略）】

中村 浩之（一般社団法人岩手県山岳・スポーツライミング協会）
八重樫 隆（岩手県勤労者山岳連盟）
中嶋 敬治（早池峰フォーラム実行委員会）
上平 玲子（早池峰の未来を考える女性の会）
菅原 克也（公益社団法人岩手県バス協会）
柿沼 正人（一般社団法人日本旅行業協会岩手県地区委員会）
太田代 剛 [協議会長]（岩手日報社）
山田 亨（岩手南部森林管理署遠野支署）
伊藤 弘至 [代理出席]（三陸北部森林管理署）
塩野 啓一（十和田八幡平国立公園管理事務所盛岡管理官事務所）
高橋 哲也（花巻市大迫総合支所地域振興課地域支援室）
藤村 進二 [代理出席]（遠野市環境整備部環境課）
菊地 俊二（宮古市川井総合事務所）
上野 貴之 [代理出席]（岩手県警察本部生活安全部生活環境課）
亀田 健一 [代理出席]（岩手県県土整備部道路環境課）
酒井 淳（岩手県環境生活部自然保護課）
浅沼 玉樹（県南広域振興局保健福祉環境部）
福士 昭（沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター）

【随行者（敬称略）】

佐野 智一（岩手南部森林管理署遠野支署）
平川 春樹（三陸北部森林管理署）
小原 悠（花巻市大迫総合支所地域振興課地域支援室）

【岩手県環境生活部自然保護課】

織茂 大樹 [自然公園担当課長]
小笠原 浩之 [主任主査]

【県南広域振興局保健福祉環境部（事務局）】

高橋 直樹 [境衛生課長]
齋藤 弘毅 [主任主査]

【当日受付者（一般傍聴者及び報道機関）】

一般傍聴者1名、報道関係者1名

4 内容

(1) 開会

県南広域振興局保健福祉環境部（事務局）高橋環境衛生課長により開会を宣言。

(2) 会長選出

事務局から岩手日報社の太田代氏の会長就任について提案を行い承認された。

(3) 議事

ア 令和4年度早池峰地域保全対策事業実施結果

県南広域振興局保健福祉環境部の齋藤主任主査から資料1により説明。

【概要】

- ・ 山開きから8月上旬までの土日祝日計18日間、関係行政機関とボランティアとの協働により、早池峰クリーン&グリーンキャンペーンを実施し、交通規制の周知、マナー啓発等の活動を行ったこと。
- ・ 携帯サポート早池峰等のボランティアによる携帯トイレの普及啓発、販売活動が行われたこと。仮設トイレを設置し登山者に登山前のトイレ使用を促したこと。
- ・ 高山植物盗採パトロールを実施した結果、高山植物の盗採跡は確認されなかったこと。登山道パトロールは天候不良により中止となったこと。
- ・ 移入種駆除を6月（セイヨウタンポポ、オオバコ）と8月（オオハンゴンソウ）に実施したこと。8月は土曜日に実施したため、参加したボランティアから好評であったこと。
- ・ 携帯サポート早地の働きかけにより、ローソン大迫店で携帯トイレの販売が5月から行われることになったこと。

【質疑応答】

○太田代会長（議長・岩手日報社）

事務局から今年度の事業について報告がありました。今年度の活動を振り返っての反省点や問題点、補足、また来年度の活動へ向けての御提案等、皆さんから御発言いただきたいと思えます。ご意見ある方はよろしくお願ひします。

○上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）

2点あります。1つはセイヨウタンポポの移入種駆除についてです。確かに今年度タンポポが少なかったということは事実ですが、日程が少し遅いのではないかとおぼれます。今年度は暖かいようなので、1週間程度実施時期を早く設定した方がよいと思ひます。

もう1つは、携帯トイレサポート早池峰の活動状況についてです。記載していただいたのはありがたいと思ひておりますが、ローソン大迫店で販売は5月となっておりますが、既に3月から販売しています。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ありがとうございます。事務局から。

○齋藤主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

移入種駆除の時期については参考にさせていただきます。

また、ローソン大迫店については、資料作成時点では5月と聞いていたものですから、訂正させていただきます。ありがとうございます。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

その他皆様から御意見等ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、事務局は先ほどの意見を参考に今後の事業を進めていただければと思ひます。よろしくお願ひします。

イ 部会報告

(ア) 自動車利用適正化部会

県南広域振興局保健福祉環境部の齋藤主任主査から資料2により報告。

【概要】

- ・ 令和4年度の適正化対策の実施結果、令和5年度の実施計画について説明したが特に質問意見等は無かったこと。
- ・ 令和5年度のバスの運行見通しについて、コロナ前程度まで利用客の回復が見込まれるが、物価高騰による燃料費、人件費の上昇が懸念されるとの発言が

あったこと。

- ・ 交通規制解除後の河原の坊駐車場付近の路上駐車場への対応について意見交換を行い、自然公園保護管理員の協力を得ながら実態把握に努めるとともに、駐車場が不足していることに関するHPへの掲載方法について検討を進めることとしたこと。

(イ) 山頂避難小屋あり方検討部会

岩手県環境生活部自然保護課の織茂自然公園担当課長から報告

【概要】

- ・ 令和4年度 of 取組状況について報告し、避難小屋改修工事の進捗状況について質問があったこと。令和4年度は入札不調となり、現在、令和5年度工事について入札公告中であること。
- ・ 設置要領の見直しについては、山頂避難小屋とそのトイレのあり方の方向性が定まったことから、今後は、使用済み携帯トイレの持ち帰りと登山前の用足し等の更なるマナー向上対策を図るため、部会のあり方の見直しについて説明したこと。当初の目的の達成について同意を得られたほか、確実な携帯トイレ持ち帰りの呼びかけについて意見をいただいたこと。
- ・ 令和5年度の取組として、携帯トイレの販売、管理の新たな体制検討、更なるマナー向上の取組みを提案し、仮設トイレの設置期間の延長、トイレ情報の周知、協力金の徴収に係る注意事項等について意見をいただいたこと。
- ・ 他都道府県における携帯トイレの取組み状況について、携帯トイレサポート早池峰から資料提供があったこと。
- ・ ローソン大迫店で携帯トイレが販売されることについて情報提供があったこと。
- ・ 携帯トイレの普及啓発活動に使用している横断幕の更新にあたって、協議会の名前の他、県、関係市、携帯トイレサポート早池峰の名前を記載すること。

(ウ) シカ対策部会

岩手県環境生活部自然保護課の織茂自然公園担当課長から報告

【概要】

- ・ シカ監視員の活動結果として、監視カメラによるシカの撮影頻度が増加傾向であること、宮古地域では一部の防鹿柵内でシカが撮影されたこと、薬師岳の防鹿柵内の植生が回復傾向であること。
- ・ 早池峰周辺地域でシカの生息数が増加し、食害も増加していることから、今後の対策のあり方の検討が必要であることを説明。柵下部からの侵入対策が必要であること、優先順位を付けて守るべきところのゾーニング、専門家のアドバイスの拡充等の意見をいただいたこと。
- ・ 県立博物館の学芸員による調査結果として、高標高域でのシカの出没数の増加、国指定希少植物の食害等の報告がなされたこと。
- ・ 東北森林管理局による国有林内におけるシカ対策事業の概要について説明があったこと。
- ・ その他として、文化庁の部会参加や、入山禁止期間を設けての安全なシカ捕獲について提案があったこと。

【質疑応答】

○太田代会長（議長・岩手日報社）

3つの部会についてそれぞれ報告がありました。質問意見等ありましたら御発言願います。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

何点か意見的な話をしたいと思います。

まず自動車利用の方ですが、駐車マナー違反が散見されるということで、これ

までもいろいろなチラシ等配布していると思いますが、今までにどんなチラシを配布してきたのかなというのがちょっと気になるところです。私がもしやるとすればワイパーに挟んで、ここは駐車して欲しくない場所ですよということをすることになるかなと思いましたが、駐車違反ではないので警察の関与も中々難しいとは思いますが、駐車車両は持ち主が分かるわけですよ。だからその方に対して後で手紙を送り、これから来るときはこうして下さい、ということも考えられないのかなと思いましたが。

ニホンジカの関係ですが、今現在は、局所防御が主な対応になっていますが、もう少し広域に網を張るということは考えられないのかなと思っております。ただ、我々は現場をキチッと把握できていないので、シカ対策でお願いしている方（現場を把握している方を）含めた作業チームを設けて対応して欲しいと思います。

避難小屋に関してですが、改修工事の入札の件で、業者が応札できるような工夫、配慮が必要なのではないかと考えています。

鶏頭山の山小屋についても、早池峰全体が携帯トイレの山ということを見ると、こちらでも携帯トイレを使うシステムということを検討すべきではないかと思えます。

部会でも話しましたが、今日は全体の場で理解していただきたいということで、お話をさせていただきました。どうぞよろしくお願いします。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ありがとうございます。大きく3つですかね、自動車、シカ、避難小屋の話と。それぞれ事務局の見解は…。

○高橋環境衛生課長（県南広域振興局保健福祉環境部）

自動車部会の件についてですが、マナーについては、マナーガイドというものを県で作成して、キャンペーンの際に配布しており、駐車場の位置をお示ししております。

また、周辺の路上駐車につきましては、合同パトロールの際に、警察、関係三市、その他関係者の皆様と確認を行っております。来年度、自然公園保護管理員さんから路上駐車の情報を収集して、今後の対策を検討していきたいと考えております。よろしくお願いします。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

シカと避難小屋についてお願いします。

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

避難小屋について工事応札してもらうように工夫をということですが、既に公告済ですので、今から資料の修正というのは出来かねますのでご了承願います。

もう一点意見のありました鶏頭山山小屋のトイレは、管理者が岩手県ではないので、管理者と連携を図りながら、部会での扱いも含めて、どのようにしていくか検討してまいりたいと考えております。

シカについては今後の取組みについて、有識者の方のご意見を踏まえて検討していきたいと考えております。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ありがとうございます。3点回答ありましたがいかがでしょうか。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

避難小屋の件ですけれども、この場で見通し聞くのもなんですが、大丈夫ですか？

部会でも何度もお話しさせていただきました。厳しい中での工事になるので、大丈夫なのかなあと本当に心配している。すいません何度もよろしくお願いします。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

そのほか、何かありますか。クライミング協会さん。

- 中村氏（岩手県山岳・スポーツライミング協会）
小屋検討部会のときもお話ししましたが、応札できないような状況であれば見積合わせなり特別随契でと意見を申し上げましたので、その辺皆さん情報共有するようよろしくお願いします。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
そういう手法もというご意見でございます。よろしく願いいたします。
- 上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）
車両部会の方で、一つあるのですが、現状大きな事故トラブルが発生していないので現状のままですとありますが、ここに関して、確かに大きな事故は起きていないかもしれませんが、大型バス等が入ってきた場合に、すれ違うのに苦労しているという現状があるかと思えます。やはりもう少し検討してもいいのではないかと思います。
シカ柵についてですが、主にボランティア中心で、県の方も相当頑張っていますが、場所によってはボランティアでは限界があると思えます。足場も相当悪いし、高くて手が届かないとか力もあまりないということもあります。ボランティアの高齢化も進んでいるので、場所によっては、技術を持った専門的な人にやってもらった方がしっかりと張れると思えます。
それから門馬のこと（希少種の食害）について、今年柵を設置する予定はあるのでしょうか。これは、早めにやった方が良いと思えます。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
道路とシカの話があったので、まず道路の方から。これは御意見ということですが、何かございますか。
- 高橋環境衛生課長（県南広域振興局保健福祉環境部）
先程申し上げたように、関係機関と違法駐車等については実態を確認するパトロール等々を通じて危険な状況が認められましたら、管理者と対策を検討していきたいと思えます。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
シカ対策についてですね、柵の設置は。
- 織茂自然公園担当課長（自然保護課）
令和5年度の柵の設置予定については、検討しているところですので、時期等決まりましたら関係者の皆様に周知を図りたいと思えます。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
ありがとうございます。その他…、八重樫さんお願いします。
- 八重樫氏（岩手県勤労者山岳連盟）
勤労者山岳連盟の八重樫といいます。携帯トイレサポート早池峰さんからちょっと話を聞いていましたが、この（横断幕の）更新デザイン、下の方に、各団体、岩手県、花巻市とありますけれども、花巻の前に白いポッチが入ると、各団体の間に白いポッチが入ると聞いていましたので、訂正お願いします
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
まだ、発注してないんですよね？
- 織茂自然公園担当課長（自然保護課）
横断幕更新はボランティアさんでの取り組みですので、県ではお答え出来ません。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
ああ、そうか。直してから作っていただければと思えます。
その他皆さんから何かご意見ございませんか？よろしいでしょうか？
それでは、ただいま出された意見、提案については、今後の部会の課題として検討したいと思えます。

ウ 協議会及び部会の設置要領の一部改正について

県南広域振興局保健福祉環境部の齋藤主任主査から資料5により説明。

【概要】

- ・ 岩手県附属機関条例の施行により、法令に基づき設置される付属機関等と要領に基づき設置される懇談会等について明確に区分することとなったことから、懇談会等に分類される当協議会及び部会の設置要領について文言の見直しを行うこと。
- ・ 山頂避難小屋あり方検討部会の見直しに伴い、所要の整理を行うこと。
- ・ 管理員については、関係市からの意見に集約可能なことから、協議会及び部会の構成員から除くこと。

【質疑応答】

質問意見等なし。

エ 令和5年度早池峰地域保全対策事業実施計画について

県南広域振興局保健福祉環境部の齋藤主任主査及び岩手県環境生活部自然保護課の織茂自然公園担当課長から資料6により説明。

【概要】

- ・ 令和5年度のキャンペーンは、規制期間中の山開き、三連休等の多くの登山客の来訪が見込まれる日に日程を絞り、人的資源の集中を図ること。内容については、今後、関係者及びボランティアと協議すること。
- ・ 携帯トイレの普及促進については、今年度同様であるが、山小屋部会の見直しに伴い、使用済み携帯トイレの持ち帰りや登山前の用足し等の更なるマナー向上対策を図ること。
- ・ 移入植物の駆除やパトロールについては、適正な時期に実施すること。
- ・ 早池峰地域の保全・ボランティア活動に著しい貢献を認める団体・個人について、協議会長名による表彰を行うこととし、「いわて水と緑の交流フォーラム」において表彰状の授与を行うこと。
- ・ 早池峰地域で活動する県グリーンボランティア登録者の活動支援を行うこと。
- ・ 自動車利用適正化対策に係る事業に関して、早池峰シャトルバスの運行については早池峰国定公園地域協議会が運行を計画するものであるが、来年度のシャトルバス運行の体制等については現在調整中であること。
- ・ 小田越登山口付近の路上等駐車対策については、自然公園保護管理員等の協力を得ながら、現地状況の把握を行いし、ホームページ等による周知についても工夫すること。
- ・ 携帯トイレの販売、管理の新たな体制づくりについて他事例を参考に部会で検討を進めること。
- ・ トイレマナー向上対策については、「登山前にトイレを済ませること」、「使用済み携帯トイレの持ち帰り」を目的とした普及啓発に努めること。
- ・ 見直し後の避難小屋部会について複数回の開催を予定していること。
- ・ シカ対策の取組みは、防鹿柵の設置等について関係機関と調整のうえ実施する予定であること。設置の仕方についても本日いただいた意見について、どのような対応がとれるか検討していくこと。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

来年度の計画について説明がありました。皆様から御意見、御質問、また、来年度の計画についての御提案等がありましたら御発言願います。

○山田氏（岩手南部森林管理署遠野支署）

資料6の1頁目【広報対象とする項目】に「使用済みの携帯トイレは、各自の責任で持ち帰るよう、御協力いただきたいこと」とあり、それが理想とは思いますが、回収してくれるなら携帯トイレ使うという人が多いような気がして（積極的に回収しま

すという必要はないとしても)、各自で持ち帰れというのが大前提というのはハードル高い気がします。

自動車部会の資料2、駐車場不足の状況については関係機関のHPへの掲載だけでなく、登山者が見るようなサイトへの掲載はどうか、ということは私が申し上げましたが、これに対して資料6にはその記載がないようなので、その辺はされないのかという懸念を持ちました。以上です。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

事務局から……

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

使用済み携帯トイレの持ち帰りがなかなか厳しいのではないかと御意見をいただきました。ハードルは高いかもしれませんが、利用者への意識啓発を行い、意識を変えていき、その成果として皆様が持ち帰りいただければいいかなと考えております。

○高橋環境衛生課長（県南広域振興局保健福祉環境部）

HPだけではなくて、登山者向けのサイトへの掲載ということにつきましては、シーズンに向けて少し工夫してまいりたいと考えており、検討中でございます。御理解のほどよろしく申し上げます。

○山田氏（岩手南部森林管理署遠野支署）

回収については、あまり周知しないという理解でよろしいですか？

○太田代会長（議長・岩手日報社）

トイレを回収するかどうかを周知するかどうか。まあ回収ボックスはあるんですよね。

○八重樫氏（岩手県勤労者山岳連盟）

それもあわせて、ちょっと私の方から。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

それではお願いします。

○八重樫氏（岩手県勤労者山岳連盟）

使用済みトイレを持ち帰るのは難しいのではないかとありますが、以前に比べゴミの持ち帰りは常識になってきているので、登山者自体は持ち帰りに抵抗はないと思います。回収ボックスを置いているというのは、例えば県外から登山者来た場合、さすがに使ったものを、臭い多少するかもしれませんが、それを自宅まで持って帰ってくださいというのは、ちょっとハードル高いので…。

○山田氏（岩手南部森林管理署遠野支署）

その話です。

○八重樫氏（岩手県勤労者山岳連盟）

全員持ち帰りとか、いきなり回収ボックス無くするというのは、ちょっとハードルが高いので、両方用意していて、意識としては、持ち帰ってもらえれば一番いいのですが、まだ難しいところがあるのが現状だと思います。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ありがとうございます。

事務局さんは、そういうようなポリシーは共有されているのですか

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

事務局としても回収ボックスをいきなり無くすることではありません。回収ボックスの設置を継続しながら、その設置数を少しずつ減らしていければと思っています。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

継続はするけれども、積極的には置いていって下さいということではないと

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

そうですね、積極的に置いていってくださるとは周知しないで、お持ち帰りの方を積極的にお願いしたいということでございます。

- 太田代会長（議長・岩手日報社）
山田さんよろしいですか。
- 山田氏（岩手南部森林管理署遠野支署）
この広報対象とする項目を見ると、無くなってしまうような気がして。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
携帯トイレを使用するのを控えるような方向にはならないような周知の仕方を…、一応どっちもやることは…。
- 山田氏（岩手南部森林管理署遠野支署）
理想で言うと持ち帰りなのでしょうが、例えば山小屋で缶ビールを売ったら、そこで空き缶を回収します。それと同じで、トイレをここで売っているなら、ここで回収するのが筋かと思います。必ず置いていけという話ではないとは思いますが。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
貴重な御意見だと思いますので、その件も含めて今後さらに検討していただければよろしいかなと思います。
その他、皆さんから御意見ございませんか。
- 菅原（公益社団法人岩手県バス協会）
シャトルバスの運行のことで、御承知かもしれませんが、参考までに状況をお話しさせていただきます。
コロナが始まって以来、バス会社では、運転出来る人が少なくなっていて、車はあるけれどドライバーがいないという状況が発生しています。運行を計画すること自体は大変重要なことだと思いますけれど、早めに会社の方に相談しないと、ちょっと無理ですということになりかねませんので、参考までにお知らせしておきたいと思います。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
ありがとうございます。事務局さんの方では御配慮願います。
その他何か御意見ございますか。
すみません、私一つ疑問に思ったことがあるのですがよろしいですか。
シカの件ですが、防御を一生懸命やっていますが、定数の管理ですか、そもそもどれくらい居てどれくらいにしていこうという、駆除とか捕獲とかいう話は無いのでしょうか？
- 酒井自然保護課総括課長（岩手県環境生活部自然保護課）
シカの管理については、農林水産部サイドの有害捕獲と、県が岩手県猟友会に委託している環境省の事業を使った指定管理委託事業でやらせていただいております。早池峰山も指定管理事業のエリアとして入っていますが、登山シーズンとなれば多くの登山者がいる状況ですし、猟銃による捕獲は跳弾の関係もあるので、そもそも猟銃による捕獲に向かないところだということもあります。下の方の緑地帯についても、狩猟エリアとしてあの辺が入っているかということ、なかなか入っているわけではないので、急にあそこで捕獲圧を強めることは技術的にもエリア的にも難しく、防鹿柵の設置で対応しているところです。御意見として、物理的に難しいところを踏まえつつ、何が出来るのかを考えていかなければならないところでございます。このため、早池峰だけ、生息数がどのくらいで、どのくらい減らしていくという目標を立てているわけではないというのが現状となっております。
- 太田代会長（議長・岩手日報社）
ありがとうございます。
その他、皆様から御意見等ありますでしょうか。
それでは、ただいま出された意見、提案などについて事務局で検討して来年度の

事業に反映させるよう努めていただければと思います。

オ 早池峰地域保全対策関係功労者表彰に係る審査について

県南広域振興局保健福祉環境部の齋藤主任主査から、資料7により本表彰の趣旨の説明及び令和5年度の候補者の推薦があり、審査の結果、被表彰者が決定した。

カ その他

○太田代会長（議長・岩手日報社）

その他として事務局から何かございますか。

○齋藤主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

事務局では特に用意しておりません。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

その他、皆様から何かございますか。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

発言趣旨としてペーパーをお配りしていましたがその中から3点ほどお話をさせていただきます。

1点目ですが、シカ対策・トイレ・自動車利用規制・避難小屋のあり方など、具体的な方策を立てて、これまでも官民の協力体制の下で取り組んできたということで、全国的にも自慢できる素晴らしい活動をされてきたと思っておりますが、いろいろな問題もまた新たに出てきています。コンセンサスの不足であるとか、大変申し上げにくいのですが資金であるとか人員の不足あるいは高齢化といういろいろ考えていかなければならないことが出てきていますので、これからも総合的に考える仕組み、もっと色々な方の協力を得ていくということで、具体的な課題の作業チームを作りたいとか、あるいは官民のパートナーシップのあり方とか行政が担うべき業務とボランティアがやっていくべきところを少し精査して、多くの知恵を集めて取り組んで行きたいものだと感じています。

2点目ですが、早池峰という国定公園ができたのは1982年、昭和57年。皆さんの前で私が言うのもなんですが、国定公園というのは国立公園に準ずるような自然の豊かさであるとか何とかを国が認定して、具体的な（管理等）作業は県が行うものだと思っておりますが、当初の公園計画が策定されたまま、その後かなりの年数が経っています。この間、登山を巡る状況であれば、一時的に登山者が減りました。そのあと百名山のブームが来てまた人が増えて、これはずっと減らないですね。右肩が少しずつ変化しながら続いている。社会情勢や土地利用の状況はかなり変わっています。現在は中央のコースである河原の坊コースが崩壊により閉鎖され、再開の見通しが立たないということになっています。こういうことを考えたときに、早池峰国定公園の公園計画を見直していく作業が必要なのではないかと思っております。色々な方々からも言われておりました。具体的にどうやれということは私の頭にはないのですが、いずれ公園計画はしっかり見直すべき時期、もう1982年からですから40年、41年、その間に色々なことが起きていますので、その状況を加味しながら具体的な作業が必要と思っておりますので是非、この推進協議会の場ということではなくて色々な場でご検討していただきたいと思っております。

最後に、早池峰フォーラム実行委員会からですが、この地域をユネスコが提唱する生物圏保存地域としてユネスコエコパークに登録して欲しいと考えています。

現在日本では（ユネスコエコパークが）10箇所ありますが、北東北以北にはありません。

早池峰フォーラム実行委員会として、私達は色々な場所を見て来たり、色々な研修をしながら進めてきましたが、ぜひこの趣旨を理解していただいて、最終的には国が申請する制度ですが、中身としては地元の自治体であるとか、あるいは中間に

県が入ったりとか、そういったことを経ながらやられて行かなければならないと、公的に。出来ない、難しい状況は確かにいっぱいありますが、それを前面に出すのではなく、どうしたら出来るのかという風に頭を切り替えていただいて、是非、地元自治体と県と、或いは私達民間も一緒になって前向きに取り組んでいきたいものだと思います。

ぜひ今回配布したパンフレットを参考にしながら御理解いただきたいと思います。

発言の機会をいただきましてありがとうございました。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ありがとうございます。

三点ありましたけれど事務局から何かございますか。

○高橋環境衛生課長（県南広域振興局保健福祉環境部）

保全対策について様々な課題があるということですが、基本的にそれを話し合う場、意見を交換する場だと思いますので、可能な限りこの場を通じまして御意見等いただければと思います。

個別の課題等につきましては、随時担当の方まで連絡していただければ必要に応じて協議会において検討してまいりたいと思いますのでよろしく願いいたします。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

あとは、ないですかね。公園計画の…。

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

公園計画の見直しの御意見をいただいたところです。協議会で議論すべきかどうかというあたりもありますので、こちらの取り扱いはいまこの協議会で進めるということではお答えはしかねるところがございます。いずれ御意見ということではようだいしたいと思います。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

エコパークについては。

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

失礼しました。エコパークにつきましても、関係市町村等との連携も必要になりますし、これから検討してまいりたいなというところでございます。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ありがとうございます。

その他、皆さんから御意見などございますか。

○上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）

グリーンボランティアの活動についてですが、これまではグリーンボランティアの活動のメインはシャトルバス運行時のキャンペーン対応だったと思うのですが、その活動がなくなってきている。そうするとグリーンボランティアはどのような活動というか…。例えばシカ柵、年2回か3回のシカ柵対応なのか、移入種駆除とか、そういうことになるのか、その辺、どういう風に…。私たちはそれぞれ長く活動してるので、やろうと思えばやれることはあるのですが、新しい人を誘うときに、どのような活動があるのか、どのように説明していったらいいのかなあとか。一番のハイシーズン、シャトルバスが運行しているときの土日が一番のメインなわけですので、その時に、なかなかボランティア活動ができないというこの現状はどうなのかとか、そういうところグリーンボランティアはどう考えたらいいのかなあと今ちょっと疑問に思っています。

グリーンボランティアの研修会もこの何年かありませんし、多分、新しく登録した人は、何をすればいいのかと思っている人も多いのではないかと思います。それぞれができることを、パトロールでも何でもいいとは言いますが、それも無責任と言うか、そんなことでいいのだろうかと思ったりもします。

その辺どのように考えたらいいでしょうか

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ありがとうございます。事務局から。

○織茂自然公園担当課長（自然保護課）

グリーンボランティアの活動についてですが、事務局としても社会情勢が変わってきたこともありますので、役割分担を再度見直しつつ、ボランティアさんの自主的な活動というのは、そのまま積極的になさっていただくのは大変うれしいことと思っておりますが、行政と関わる部分についてはまだ整理中であり、この場でこれをやってくださいというお話はできませんので、これまでの活動を踏まえて、どのように活動を進めるべきか、というあたりを探っていきたいと考えております。

○太田代会長（議長・岩手日報社）

ありがとうございました。その他皆さんから何かご意見等ございますか。

よろしいですか。特になければ、これで議事を終了して進行を事務局にお返ししたいと思います。

(4) 閉会